

愛と信頼

No1

愛奏

以前私は、相手を100%信じる、信頼する、
という事と、「愛」を、まるで別々のもののように思っていました。

「100%信頼する」為には、信頼出来るだけの証拠や実績が必要、
というように。

それを確認できるまでは、それこそ大なり小なり駆け引きが繰り返されたりするわけですが。^^

男女の仲にしても、仕事関係や一般的な人付き合いにしても。
でもいつからか、自分の胸の奥の方から聴こえてくるもう一人の自分の声、
のような… もしかすると、素の本当の自分の感覚、自然な想い、そちら
に従った方が真実だと思えるようになり、実際に噂話や人の意見で誰かや
何かを判断してしまっただけは、勿体無い間違いを起こすという事も、自身や
人を通して沢山見てきました。

それでも、まだ「愛」と「信頼する」或いは相手を「信じぬく」という
のが ^{イコール} = だとは認識していなかったのです。

それが、愛を学びはじめ、最近韓流ドラマの『善徳女王』^{そんどく}を観てみては
じめて、相手を最後まで信じぬく、という事は、何て大きな揺るぎ無い愛
なのだろう！と気づかされてしまいました。

何か惑わせるような事があって、信じたい人に疑惑を抱いてしまう、
というのは、結局自分が傷つかない為の自己防衛。自分の方に向けた愛。

そうするうちは、条件付きの愛なのだと。

No 2

無償の愛で愛したいならば、無償の愛を自身が選ぶなら、

例え自分がどうなろうと構わず、恐れず、相手をただただ愛し、

思い切って最後まで信じぬいてあげる、この上無い強さが必要。

そのエネルギーはとても尊く、どんな惑わしも跳ね除け、試練と思わせるものをも乗り越えられる力を持っているんだ！と。

けして私も立派な親ではないのですが、^^；

これはきっと、育児（育自）にも言えるのではないのでしょうか？

何か大小に関わらず問題が起きた時も、結局一番身近な人、親などが、その子の本当の姿の部分（浮かび上がった部分でなく）を「あなたは大丈夫！」と信じてあげる、信頼の上で話を聴く、話す、そして一緒に解決策を探してみる。でも、全部に手を貸すのでなく（忍耐が必要ですが^^；）、子供を信じて出来る限り関わりながらも自分で最後までやらせてみる。もし上手くいかなかったとしても、その子がそれに挑んだ姿勢を最大に褒めてあげる…。その繰り返しなのかなあと。

離れている時も、心配の時間を切り替えて、いつも「大丈夫！」「あの子は乗り越えられる力をちゃんと持ってる！」「出来る！」というふうに、無条件に信じて応援してあげる。「あなたを丸ごと愛してるよ～」を自分のハートから子供のハートに常に贈るイメージ♥。そうすると、表面の細々な結果はどうであれ、お互いの間に育つ信頼の方が何よりも大きく、嬉しく、幸せで、掛替えのないもの、「絆」になるのではないのでしょうか。

信頼（愛）は、まず自分から示す（贈る）事が大切みたいです。 No3

想いと言葉の両方で。すると自然にふるまいもそうなるようです。

その中に、大人が子供に何か期待を持つというのは、自分の勝手に押し付けてしまうようなので、無条件ではなくなり、どうも相手はそれに苦しくなって反発するのかなぁと感じます。本当に人としての成長を願うなら、大人も勇気を出して、子供の自由な無限の可能性をサポートさせて貰う役を頂いている、と捉えた方が良いのかもしれませんね。まさに、親も子も、時には先生も、お互いに育て合っている！という事なのではないでしょうか。^^

「愛しぬく＝信じぬく」を、思いがけず初めての韓流ドラマから気付かされましたので、書いてみました。もし「愛」を学び始める前に観ていたら、ただとても面白いドラマだと思って終わったかもしれません。

「愛」とは、本当に深いな～と思います。その一つ一つを私達みんなで気付いて、分かち合って実践していくと、そこら中愛だらけになって、本当にみ～んなが幸せな平和な世界が出来上がるのではないのでしょうか？ ^^